

今日のトピック 原油価格の動向 (2017年8月)

原油価格の鍵を握るOPECの協調減産

ポイント1 OPECの生産量が拡大

OPEC生産枠を小幅ながら超過

- 石油輸出国機構 (OPEC) 月報の2017年8月号によれば、7月のOPEC総生産量は日量3,287万バレルとなり、4-6月期の同3,229万バレルを上回りました。
- 7月の生産量は、16年11月のOPEC総会で合意に達した生産枠の上限を超えています。内戦の影響等を考慮され、減産を免除されているリビア、ナイジェリアの増産によるものです。
- OPEC諸国の7月の減産遵守率は75%と、今年1月に減産を開始して以来の最低を記録しました。

**ポイント2 17年は需要超過の見通し
世界経済の拡大で需要が増大**

- 一方、原油の需要は、世界的な景気拡大を背景に堅調に推移しています。国際エネルギー機関 (IEA) によれば、17年の原油需要は世界全体で日量9,760万バレル、前年比同150万バレルの増加が見込まれます。
- 非OPEC諸国の供給量が同70万バレル増の同5,810万バレル程度と予測されることから、OPECが現状程度の生産量を維持すれば、原油の需給は14年～16年の供給超過から17年に需要超過へと転換する見通しです。

今後の展開 原油価格はレンジ内で推移へ

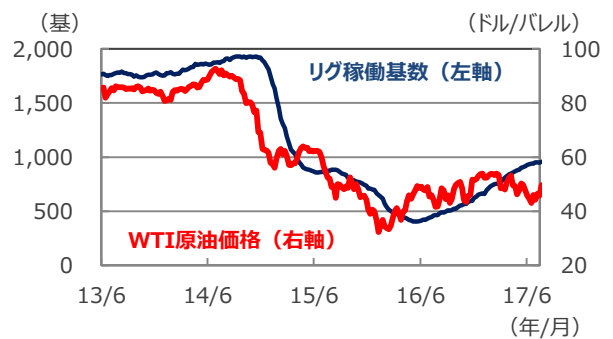
- 産油国の協調減産が維持される限り、原油価格が大きく下落する公算は小さい一方、価格が上昇すれば、シェールオイル増産の可能性が高まります。従って原油価格は当面のところ、1バレル当たり40～50ドル程度で推移する見通しです。

【OPEC加盟国の原油生産枠と生産実績】

国名	生産枠	生産 (2017年)		
		1-3月	4-6月	7月
サウジアラビア	1,006	989	996	1,007
イラク	435	445	445	447
イラン	380	380	379	382
UAE	287	294	291	291
クウェート	271	271	271	270
ベネズエラ	197	200	196	193
アンゴラ	167	163	165	165
アルジェリア	104	105	106	106
カタール	62	63	61	62
エクアドル	52	53	53	54
ガボン	19	20	20	21
リビア	-	66	71	100
ナイジェリア	-	151	162	175
赤道ギニア	-	16	15	16
OPEC総計	3,250	3,213	3,229	3,287

(注1) 単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは生産枠の設定を免除されています。
 (注2) 四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しません。
 (注3) 赤道ギニアは2017年5月の総会で加盟が承認されました。そのため、生産枠の設定はありません。
 (出所) OPEC月報2017年8月号等を基に三井住友アセットマネジメント作成

【原油価格と北米のリグ稼働基数】



(注) データは原油価格が2013年6月7日～2017年8月15日。リグ稼働基数が2013年6月7日～2017年8月11日。ともに、週次データ。WTIは原油価格の代表的な指標のひとつ。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2017年7月24日 原油価格の動向 (2017年7月)
2017年6月15日 「協調減産」で価格維持を図るOPEC**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。